

文 葛西得男

text by Tokuo Kasai

「保育」の原点

**私** が50歳の頃、友人たちとハワイのホノルル・マラソンに参加したことがあります。当時、友人であるホノルル市長のジェミリー・ハリス氏から「一緒にホノルル・マラソンを走ろう！」と誘われて参加したものでした。

完走タイムは6時間くらいだったと記憶していますが、何よりの思い出はハリス氏とマラソン中に、彼に誘われ突然ハンバーガー・スタンドに入ったことです。ハンバーガーの味とハリス氏の自由な発想と行動にある意味驚き、感動しました。今となつては、本当に楽しかった良い思い出です。

そのマラソンのゴール前で偶然、友人の仁志田博司博士にお目に掛かりました。彼は当時、東京女子医科大学母子総合医療センター長をしておられ、未熟児・新生児医療のエキスパート、スーパードクターとして世界的に有名な教授でした。仁志田博士は大学卒業後、米国に渡り米國小児科専門医および周産期・新生児専門医の資格を習得するなど、米国に於いて地に足をつけて実務経験を積んだ実績を持つ素晴らしい医師で、あり研究者なのです。趣味がマラソンで、本当にハワイのホノルル・マラソンで偶然会ったのには驚きました。

その時、彼は私にこう言ったのです、「私は定年になったら5年間かけて、ヨーロッパからシルクロードまで自分の足で走りたいのです。その時は是非サポートをお願いしたい！」

少年のように目を輝かせて自分の夢を真剣に語り、そう言ったのでした。私は本当に感動した事を今でも思い出します。

「何とか彼の純粋な夢を叶えてあげたい」「ひとつ彼の夢に自分の夢も重ねてみたい」と思い、私も実現に向けて動き出したのでした。

それはやがて「シルクロード・ランニングジャーニー」というタイトルで実現することとなります。「シルクロード」という事で、本当に中国を愛して関係の深かった手塚治虫先生の事が浮かび、手塚治虫夫人の手塚悦子さん、手塚プロダクションの松谷社長などの賛同、ご協力も得て、仁志田博士のラ

化が進む社会にも最高の勇気を与える起爆剤になればと願ったものです。



パチカンにてヨハネ・パウロ2世に謁見

Profile

1950年12月8日大阪に生まれる。1972年、追手門学院大学卒業後、米国家ボストンカレッジに留学。1975年に帰国後、アップリカ葛西に入社。営業部、副社長、社長を経て、1996年に社会福祉法人 松福会 理事長に就任。松福会は社会福祉法人として高齢者介護施設「アップリケア」と認可保育園マザーシップ保育園を運営している。アップリカ葛西 副社長時代に国連UNEP環境計画のスペシャルアドバイザーとして子供たちのために地球環境問題を考えるプロジェクトに参画し、世界の賛同者と世界会議、イベント普及活動などを行いながらその人脈などを広げ現在に至る。



子どもたちに心を、お年寄りに環境を



マザーシップが大切にすること

マザーシップでは、保育園がお子さんの成長にとって最もふさわしい生活の場であるよう、**3**つのことを大切にします。

1.大切にします

質の高い保育環境の整備とあたたかいかわり

2.大切にします

保育のパートナーとしての保護者の皆さんとの協働

3.大切にします

地域社会のさまざまな人々との出会いや社会資源の活用



松福会は、子どもたちとお年寄りにやさしい社会をつくるため、高齢者介護施設アップリケアとマザーシップ保育園を運営しています。

社会福祉法人 松福会

〒558-0021 大阪市住吉区浅香1丁目8番38号  
TEL: 06-6696-1177 (代)  
FAX: 06-6696-1273  
E-MAIL: info@apricare.com http://www.apricare.com

マザーシップ船場保育園

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町2-1-9 船場メディカルビル2F  
TEL: 06-4964-0717  
FAX: 06-4964-0710

- マザーシップ船場東保育園 ●マザーシップ新梅田保育園
- マザーシップ西宮北口保育園 ●マザーシップ保育園森の家